



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月1日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL http://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,113	4.3	1,182	38.4	1,362	48.0	710	66.4
30年3月期第2四半期	19,281	△0.8	853	14.7	921	36.5	426	84.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 439百万円(△48.1%) 30年3月期第2四半期 846百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	20.97	—
30年3月期第2四半期	12.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	56,845	45,707	76.3
30年3月期	57,824	45,786	75.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 43,387百万円 30年3月期 43,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
31年3月期	—	10.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当3円

31年3月期配当金(予想)につきましては、平成30年5月2日に「平成30年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	6.4	3,400	△3.2	3,500	△1.7	2,150	0.5	63.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	34,536,635株	30年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	674,443株	30年3月期	674,280株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	33,862,269株	30年3月期2Q	33,862,504株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当社は、平成30年11月21日(水)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が継続し、海外ではアジアでの堅調な経済成長や米国経済の回復が持続しておりますが、米中の貿易摩擦の影響が懸念される等、依然として世界経済の先行きは不透明な情勢が続いています。

このような環境の下、当社は企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、当期より新たに「中期経営基本計画」を開始いたしました。国内では、高まるインバウンド需要に対して期待される新システム「多言語放送サービス」の納入など、「音の報せる力」を核とした商品展開を進めています。また、海外各地域それぞれの市場ニーズに応えた商品開発の加速と販路の拡充を継続して行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,113百万円（前年同四半期比+832百万円、4.3%増）となりました。利益については、営業利益は1,182百万円（前年同四半期比+328百万円、38.4%増）、経常利益は1,362百万円（前年同四半期比+441百万円、48.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は710百万円（前年同四半期比+283百万円、66.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は11,540百万円（前年同四半期比+271百万円、2.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,977百万円（前年同四半期比+50百万円、2.6%増）となりました。

減災・防災市場向けの販売は伸び悩みましたが、商業施設、宿泊施設向けや交通インフラ市場での販売が伸長しました。また、前期に発売した映像機器等の新商品の納入が進み、売上高が増加しました。これに伴い、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は3,571百万円（前年同四半期比+282百万円、8.6%増）、セグメント利益（営業利益）は515百万円（前年同四半期比+173百万円、50.8%増）となりました。

インドネシアやマレーシアでの販売が堅調に推移し、また、ベトナムでは空港施設や官公庁向けの売上高が増加したことにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は2,541百万円（前年同四半期比+247百万円、10.8%増）、セグメント利益（営業利益）は329百万円（前年同四半期比+165百万円、100.2%増）となりました。

ドイツやフランスなど欧州各国での非常用放送設備等の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(アメリカ)

売上高は1,676百万円（前年同四半期比△128百万円、7.1%減）、セグメント利益（営業利益）は43百万円（前年同四半期比+11百万円、37.8%増）となりました。

アメリカでの鉄道車両向けの販売遅延や、カナダでの教育市場向け音響機器の販売が伸び悩み、売上高は減少しましたが、原価率の改善などにより、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は783百万円（前年同四半期比+158百万円、25.4%増）、セグメント利益（営業利益）は50百万円（前年同四半期比△56百万円、52.8%減）となりました。

中国において空港向けなどの大型物件や新規流通開拓などにより売上高が増加し、台湾や香港での販売も堅調に推移しましたが、営業費用の増加により、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は56,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ978百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は20,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益による増加1,362百万円、減価償却費499百万円、売上債権の減少額3,004百万円、たな卸資産の増加額△1,243百万円、仕入債務の減少額△947百万円、法人税等の支払額△567百万円などにより、営業活動による資金の増加は1,348百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

生産設備や情報設備の取得による資金の減少408百万円などにより、投資活動による資金の減少は497百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の増加はありましたが、配当金の支払439百万円などにより、財務活動による資金の減少は71百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成30年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,958	17,478
受取手形及び売掛金	10,759	7,649
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	5,607	6,180
仕掛品	818	979
原材料及び貯蔵品	2,658	2,906
その他	666	858
貸倒引当金	△93	△59
流動資産合計	40,875	39,493
固定資産		
有形固定資産	6,519	6,505
無形固定資産		
のれん	306	571
その他	1,329	1,228
無形固定資産合計	1,635	1,799
投資その他の資産		
投資有価証券	7,577	7,784
投資その他の資産	1,219	1,265
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	8,794	9,046
固定資産合計	16,949	17,352
資産合計	57,824	56,845
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,906	2,883
短期借入金	852	1,317
未払法人税等	468	317
引当金	197	198
その他	2,238	1,738
流動負債合計	7,663	6,454
固定負債		
退職給付に係る負債	2,704	2,734
その他	1,669	1,949
固定負債合計	4,374	4,683
負債合計	12,037	11,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	27,324	27,594
自己株式	△393	△394
株主資本合計	39,077	39,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,668	4,823
為替換算調整勘定	△253	△777
退職給付に係る調整累計額	11	△5
その他の包括利益累計額合計	4,425	4,040
非支配株主持分	2,283	2,320
純資産合計	45,786	45,707
負債純資産合計	57,824	56,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	19,281	20,113
売上原価	10,954	11,169
売上総利益	8,326	8,944
販売費及び一般管理費	7,472	7,761
営業利益	853	1,182
営業外収益		
受取利息	18	28
受取配当金	37	45
受取保険金及び配当金	26	26
為替差益	—	24
その他	31	79
営業外収益合計	114	204
営業外費用		
支払利息	14	19
為替差損	22	—
その他	9	3
営業外費用合計	46	23
経常利益	921	1,362
税金等調整前四半期純利益	921	1,362
法人税等	340	427
四半期純利益	580	935
非支配株主に帰属する四半期純利益	153	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	710

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	580	935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	155
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	26	△637
退職給付に係る調整額	△37	△14
その他の包括利益合計	265	△496
四半期包括利益	846	439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710	325
非支配株主に係る四半期包括利益	135	113

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	921	1,362
減価償却費	430	499
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	76	27
受取利息及び受取配当金	△55	△73
為替差損益(△は益)	11	△33
支払利息	14	19
売上債権の増減額(△は増加)	1,851	3,004
たな卸資産の増減額(△は増加)	△610	△1,243
仕入債務の増減額(△は減少)	△432	△947
未払金の増減額(△は減少)	△232	△268
その他	△204	△488
小計	1,769	1,858
利息及び配当金の受取額	56	75
利息の支払額	△14	△17
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△533	△567
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,277	1,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△387	△555
定期預金の払戻による収入	442	473
有形固定資産の取得による支出	△183	△242
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△221	△166
その他	△17	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366	△497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△453	490
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	△25
配当金の支払額	△405	△439
非支配株主への配当金の支払額	△48	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△909	△71
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29	452
現金及び現金同等物の期首残高	19,161	19,670
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,191	20,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,268	3,289	2,293	1,804	624	19,281	—	19,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,039	1,719	1	26	1,808	6,595	△6,595	—
計	14,308	5,008	2,294	1,831	2,433	25,876	△6,595	19,281
セグメント利益	1,926	341	164	31	107	2,571	△1,718	853

(注)1. セグメント利益の調整額△1,718百万円には、セグメント間取引消去△54百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,663百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,540	3,571	2,541	1,676	783	20,113	—	20,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,405	1,808	3	19	1,785	7,021	△7,021	—
計	14,945	5,379	2,544	1,696	2,568	27,134	△7,021	20,113
セグメント利益	1,977	515	329	43	50	2,916	△1,734	1,182

(注)1. セグメント利益の調整額△1,734百万円には、セグメント間取引消去20百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,755百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。